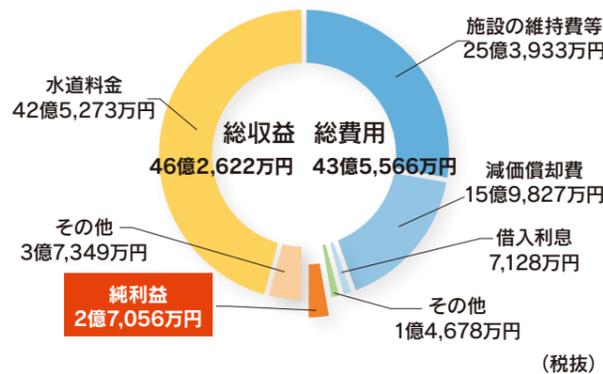


令和5年度 決算のお知らせ

水道事業会計

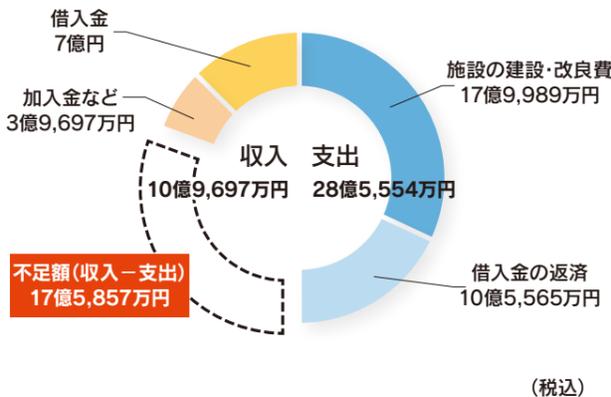
古くなった水道管や浄水施設の更新・耐震化など、計画的に取り組みました。また、水道使用率が低い田丸地区の水道管整備を見直し、一時休止しました。

水道水をつくり、届けるための経費と財源 (収益的収支)



水道料金などの総収益46億2,622万円に対し、総費用は43億5,566万円で、純利益は2億7,056万円となりました。

水道管の布設や施設の耐震化工事などの経費と財源 (資本的収支)

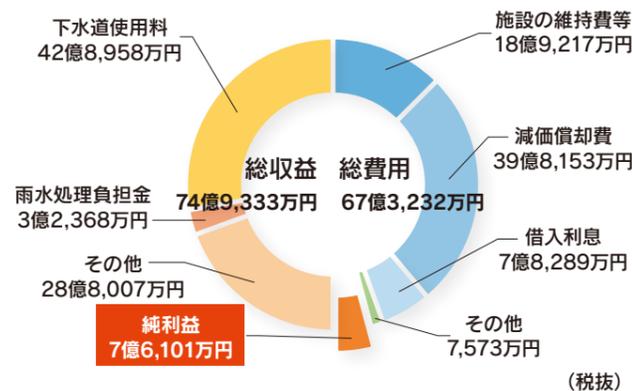


収支の不足分は、水道事業会計で積み立てた資金などで補っています。借入金の返済額が借入金額を上回っているため、企業債借入残高は減少傾向にあります。令和5年度末の借入残高は約79億1,800万円です。

下水道事業会計

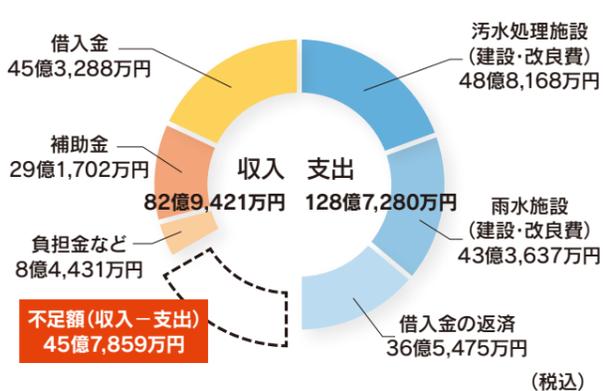
污水事業では、久留米市生活排水処理基本構想を改定し、公共下水道の整備区域の縮小見直しを行いました。雨水事業では、雨水幹線貯留施設の築造工事に取り組みました。

污水や雨水を処理するための経費と財源 (収益的収支)



下水道使用料などの総収益74億9,333万円に対し、総費用は67億3,232万円で、純利益は7億6,101万円となりました。污水処理費用を使用料収入でどの程度賄えているかを示す「経費回収率」は96.8%で、100%を下回る状況が続いています。

下水道管の布設や施設の耐震化工事などの経費と財源 (資本的収支)



収支の不足分は、下水道事業会計で積み立てた資金などで補っています。借入金額が借入金の返済額を上回っており、企業債借入残高は年々増加しています。令和5年度末の借入残高は約720億5,400万円です。

問 経理課 TEL:30-8506 FAX:30-8570

水道事業会計・下水道事業会計の決算の詳細や決算書は、市ホームページに掲載しています。

経営戦略の中期改定を実施しました



経営戦略とは

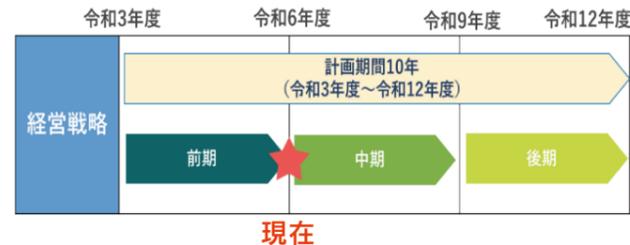
公営企業が将来にわたりサービスの提供を安定的に継続することを目的とした、中長期的な経営の基本計画です。

久留米市企業局の経営戦略は、経営の健全化と基盤強化を図り、安全・安心で持続可能な上下水道事業を確立するために令和2年度(2020年)に策定しました。

なお、計画期間は令和3年度(2021年)から令和12年度(2030年)の10年間です。



中期改定の内容



策定から3年が経過した現在、経営環境が厳しさを増し、今後も、人口減少による料金収入の減少や施設の老朽化による大規模な更新投資などが見込まれる状況です。

特に下水道事業では、前期において経営改善を目的に、生活排水処理基本構想を見直し、下水道使用料改定に向けた準備を整え、経営戦略の中期改定に反映しました。しかし、今後も厳しい経営状況が続くことが見込まれています。

上下水道事業は、市民生活を支える重要なライフラインとして、事業の効率化や民間の活用など様々な手法を検討しながら、さらなる経営の健全化を目指します。

問 上下水道部総務 TEL:30-8504 FAX:30-8570

詳しくはこちら



人工衛星とAIを活用した水道管の漏水調査などを実施します



この取り組みでは、人工衛星が撮影する衛星画像をAI(人工知能)が解析し、それによって特定した漏水範囲の現地調査を行います。また、その結果を含む様々な情報をもとに、AIによる水道管の劣化予測・更新計画を策定する実証的なものです。これにより、漏水箇所の早期発見・早期修繕や今後の管路更新に活用することで、より効果的で安定した水道事業を目指します。



問 上水道整備課 TEL:30-8525 FAX:38-2694

